

## 重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

取組項目(中項目)	3 地方公営企業などの経営改革	No.	59⑥				
具体的な取組項目(小項目)	4 その他特別会計の経営改革の取組強化	担当課	農林政策課				
改革実施項目名称(細項目)	と畜事業 ・施設管理経費の圧縮、修繕計画の策定による修繕経費の平準化及び効率化						
現状と課題 (これまでの取組み)	指定管理に関する経費を削減するため、指定管理者と協議し、光熱費の節減や保守点検の見直し等、実施可能なものを実施した。 しかしながら、施設老朽化に伴う設備及び機器の改修、更新による修繕費が増加していることから、計画的、効果的に改修を行うため、早急に修繕計画を策定する必要がある。						
事業の目標・目的 (考えられる効果)	≪計画期間の目標≫ ・経費節減策を実施し、所要経費や光熱費等の節減を図る。 ・施設設備及び機器の改修、更新を計画的に行うため、修繕計画を策定する。						
	≪事業の最終目標≫ ・財政収支の均衡回復 ・食肉センターの運営が持続可能となることで、市民へ安心安全な食肉の供給をすることができる。						
取組の内容	・引き続き経費節減策を検討し、施設管理経費を圧縮 ・修繕計画の策定による、修繕経費の平準化及び効率化						
改革実施概要	取組工程 (具体的な内容)	現状 (平成26年度)	平成27年度 計画	平成27年度 実績	平成28年度 計画	平成28年度 実績	中間目標/ 29年度以降
		・経費節減策を検討し、所要経費や光熱費等の節減を実施する ・施設設備及び機器の改修、更新を計画的に行うため、修繕計画を策定する	・経費節減策を検討し、所要経費や光熱費等の節減を実施する ・施設設備及び機器の改修、更新を計画的に行うため、修繕計画を策定する	・指定管理者と協議し、光熱費等の経費節減を行うことにより、前年度より経費の削減を行うことができた。 ・修繕計画についても協議を行っているが、さらなる検討が必要。	・経費節減策を検討し、所要経費や光熱費等の節減を実施する ・施設設備及び機器の改修、更新を計画的に行うため、修繕計画を策定する	・指定管理者が適正な経費処理等に努めた結果、指定管理料が前年比減となった。 ・指定管理者と修繕計画の骨格の作成に着手した。	
指標	施設管理経費の削減	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	修繕計画の策定	検討	検討	検討	検討	検討	検討

進捗管理	(各年度10月に実施)		平成27年度		平成28年度		※平成29年度上半期に計画期間の中間評価を実施する。
	取組の状況	上半期 (4～9月)	・事務の見直しにより、所要経費や光熱費等の節減 ・修繕計画の検討	予定通り 進捗	・事務の見直しにより、所要経費や光熱費等の節減 ・修繕計画の検討	予定通り 進捗	
年度評価	(年度終了後に実施)		平成27年度		平成28年度		
	取組工程、指標に対する評価		計画通り、事務の見直しにより、所要経費や光熱費等の節減を図った。	B	指定管理料は前年比減となった。	B	
	課題、今後の方針、改善事項など		事務の見直しを引き続き行い、所要経費及び光熱費の削減を図るとともに、計画的・効果的な修繕計画の策定を行う。		指定管理運営の見直しを継続するとともに、修繕計画の策定を行う。		
計画期間の中間評価	(平成29年度に実施)		中間評価				平成29年度以降
	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)		指定管理者と協議し、光熱費の節減や保守点検の見直し等、実施可能なものを実施し、経費の削減を行うことができています。また、設備の一覧表の作成に着手する等計画的・効果的な修繕計画を検討している。	B			
	課題、今後の方針、改善事項など		指定管理に関する経費を削減するため、指定管理者と協議し、実施可能なものを実施していくとともに、計画的・効果的な修繕計画の策定を行っていくが施設の老朽化に伴う経費・修繕費の増が課題となる。				

## 重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

取組項目(中項目)	3 地方公営企業などの経営改革	No.	59⑥				
具体的な取組項目(小項目)	4 その他特別会計の経営改革の取組強化	担当課	農林政策課				
改革実施項目名称(細項目)	と畜事業 ・施設管理経費の圧縮、修繕計画の策定による修繕経費の平準化及び効率化						
現状と課題 (これまでの取組み)	指定管理に関する経費を削減するため、指定管理者と協議し、光熱費の節減や保守点検の見直し等、実施可能なものを実施した。 しかしながら、施設老朽化に伴う設備及び機器の改修、更新による修繕費が増加していることから、計画的、効果的に改修を行うため、早急に修繕計画を策定する必要がある。						
事業の目標・目的 (考えられる効果)	≪計画期間の目標≫ ・経費節減策を実施し、所要経費や光熱費等の節減を図る。 ・施設設備及び機器の改修、更新を計画的に行うため、修繕計画を策定する。						
	≪事業の最終目標≫ ・財政収支の均衡回復 ・食肉センターの運営が持続可能となることで、市民へ安心安全な食肉の供給をすることができる。						
取組の内容	・引き続き経費節減策を検討し、施設管理経費を圧縮 ・修繕計画の策定による、修繕経費の平準化及び効率化						
改革実施概要	取組工程 (具体的な内容)	現状 (平成26年度)	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	最終目標/ 31年度以降
		・経費節減策を検討し、所要経費や光熱費等の節減を実施する ・施設設備及び機器の改修、更新を計画的に行うため、修繕計画を策定する	・経費節減策を検討し、所要経費や光熱費等の節減を実施する ・施設設備及び機器の改修、更新を計画的に行うため、修繕計画を策定する	・指定管理者と協議し、電力契約の入札を行い光熱費の経費節減に取り組んだ。 ・指定管理者と修繕計画の骨格の作成に着手した。	・経費節減策を検討し、所要経費や光熱費等の節減を実施する ・施設設備及び機器の改修、更新を計画的に行うため、修繕計画を策定する	・経費削減のため、光熱水費及び廃棄物処理の運用見直しを行った。 ・施設長寿命化のため冷凍機設備の調査・設計を実施し、施設修繕計画の策定に活用する。	
指標	施設管理経費の削減	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	修繕計画の策定	検討	検討	検討	検討	検討	策定

(各年度10月に実施)		平成29年度		平成30年度		
進捗管理	取組の状況	上半期 (4～9月)	・経費削減のため、電力契約の入札を行い、1月より実施。 ・指定管理者が施設保全研修を受講し、修繕計画策定に向け、準備を進めた。	予定通り 進捗	・経費削減のため、光熱水費及び廃棄物処理の運用見直しを行っている。 ・施設長寿命化のため冷凍機設備の調査・設計を実施し、施設修繕計画策定に活用する。	予定通り 進捗

(年度終了後に実施)		平成29年度		平成30年度	
年度評価	取組工程、指標に対する評価	事務の見直しにより、所要経費や電力契約の入札による光熱費等の節減を実施した。また、修繕計画の策定に向け準備が進められている。	B	事務の見直しにより、光熱水費及び廃棄物処理の運用見直しによる光熱費等の節減を実施した。また、措置される予算が追い付いていない現状があるものの、修繕計画は年度ごとに策定している。	B
	課題、今後の方針、改善事項など	引き続き指定管理経費のさらなる見直し検討を継続するとともに、修繕計画の策定も進めていく。		引き続き指定管理経費のさらなる見直し検討を継続するとともに、修繕計画の策定も進めていく。	

計画期間の評価	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)	計画通り指定管理に関する経費を削減するため、指定管理者と協議し、光熱費や廃棄物処理費の節減、保守点検の見直し等を実施し、経費の削減を行うことができた。 また、修繕計画については施設の老朽化も鑑みながら年度ごとに策定しており、施設の機能維持に努めている。	B	平成31年度以降 今後も指定管理に関する経費を削減するため、指定管理者と協議し、実施可能なものを実施していく。
	課題、今後の方針、改善事項など	今後も指定管理に関する経費を削減するため、指定管理者と協議し、実施可能なものを実施していく。		